○現行制度の改善又は拡充を求めるもの（拡充を求めるもの）

区分	□ 新　規　　■ 再提案　（24・8・30　第131回総会；松本市）		
種類	■ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの □ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの □ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの※注 □ その他（　　）	分野	■ 総務文教 □ 社会環境 □ 経済 ■ 建設
要望先	■ 国	担当省庁	国土交通省
	■ 県	担当部局	危機管理部、建設部
	□ その他	名　　称	

件名	**3　国土交通省の高性能レーダシステム「ＸＲＡＩＮ（エックスレイン）」の観測エリアの拡大について**
提案市	上田市、佐久市、安曇野市
提案要旨	国土交通省では現在、局所的な大雨（いわゆるゲリラ豪雨）をほぼリアルタイムに観測可能な「ＸバンドＭＰレーダネットワーク」、通称ＸＲＡＩＮ（エックスレイン）の整備・運用を進めており、現在全国で37のレーダが設置されているところである。しかし、長野県内に同レーダは設置されておらず、県のほぼ全域が観測対象外となっている。県内全域を対象としたＸＲＡＩＮレーダを早期に設置していただきたい。
提案理由	近年、長野県内でも集中豪雨やゲリラ豪雨による浸水被害や土砂災害が頻発している。特に７月９日に南木曽町で発生した土石流被害は、長野地方気象台の大雨警報、土砂災害警戒情報の発令前に発生したものであり、既存の雨量観測システムによる大雨・豪雨対策には限界がある。従来型のレーダに対し、より短時間で詳細に観測できるＸＲＡＩＮレーダの設置により、大雨や豪雨に対する防災対策の強化が図られると考える。
現況及び課題等	ＸＲＡＩＮレーダは既存レーダと比較し、最小観測面積が１kmメッシュから250mメッシュに、観測周期は５分から１分に、配信に要する時間も５～10分が１～２分にと、現行の気象レーダより高分解能、高頻度で観測ができる。しかし、本レーダの観測地域は都市部が中心で、長野県は県境に接する市町村の一部に限られ、その殆んどが観測対象外となっている。 先に自民党の災害対策特別委員会が全国の「空白域」を解消するよう、政府の来年度予算案で本レーダ設置費の増額を求めていくとしており、長野県としても国に強く働きかける必要があると考える。
関係法令	